

■12月29日（土）公開初日&トークイベント無事開催しました！

※トーク：鈴木志郎康さん（詩人・映像作家）×三浦淳子監督

劇場公開初日！

快晴のなか、朝早くからたくさんの方にご来場いただき、清々しいスタートをきることができました！

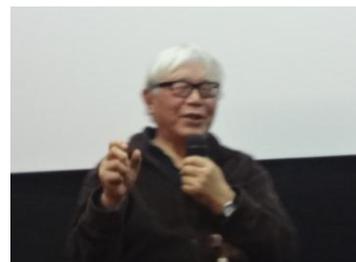


トークゲストは、三浦監督が29歳の会社員時代、初めて映像制作をした時の先生で、これまでの三浦監督作品全てをご覧になっている鈴木志郎康さん（詩人・映像作家）。



トークは、三浦監督の過去作品からみる「さなぎ」の感想から始まり、三浦監督の取材・制作・表現方法の姿勢、メディア映画と個人映画の違い、フィルムからデジタルへの変遷の中でも普遍的なものを見かた、、、など多岐にわたりました。また、戦時中小学生だった鈴木さんは、小学5年生まで学校に通えず、小6になってから九九を覚えたことなど、先生にとつての「学び」の経験談なども交えお話しいただきました。

■鈴木：いまやスマホでも映像が撮れる時代。遊びで撮るのも楽しいが、そこには一人ひとりのどんな瞬間も歴史の一片（一コマ）であり、その一つひとつを大切にすることは個人を大切にすること＝愛情につながるということを感じる大切。・・・体制は個人がつくっているんです。



■三浦：このような作品は、社会の中での意味づけを求められるが、私は個人の心の動きを大切にしたいと思っている。撮影を続け一緒に遊ばせてもらうなかで自分自身のメソメソした子ども時代が解放されていく感じが嬉しく楽しかった。自分にしかできない映像を模索する中で、近いものを撮りたい・伝えたいと思った。いま、「こうじゃなきゃ」ということが多くなっているように思うが、こどもの本来持っているエネルギーが小さくなっていつてしまっている気がする。

---

会場ではたびたび笑いもおこり、終始和やかな雰囲気でした！



そして、急きょ来場の登場人物（主人公！）の木下愛さん！  
客席からご紹介させていただくと、突然のご本人登場に、歓声があつたおこり、会場はあたたかい拍手で包まれました！



トーク後のロビーでは、ゲストの鈴木さんと三浦監督にサインをを求める列ができました！  
※急ぎよ駆けつけてくれた愛さんも、次々とお客さまから声をかけられ、記念撮影も！

☆「さなぎ」パンフレット好評販売中☆

お母さんの手記、届いた推薦文やメッセージ、採録シナリオ、、そしてステキなイラストがたくさん入ってます！



※トークに引き続き、1Fのカフェ THEOにて交流会を開催。

トークゲストの鈴木志郎康さんと監督、そして木下愛さんも一緒に、不登校の子を持つお母さん、保健室の先生、大学生、アートを学ぶ若者、大学教授などなど、さまざまな一般のお客さま約 20 名と車座になり、コーヒーやサンドイッチを食べながら、劇場トークに増して和やかに質問や感想を語り合いました！



※実りの多かった初日を迎えた三浦監督から\*

「いま、劇場で上映させてもらっているが、自分にとって作品を人に見せるということは、人と人が出会い、対話が生まれることが大切だと思っている。今日のトークや交流、とても嬉しかった。そしてこれからの出会いも楽しみにしている」



～ご来場いただいたみなさま、ありがとうございました！～

2012年12月29日(土) ～/10:30～ (1/1は休映)

ユーロスペースにて上映中 <http://www.eurospace.co.jp/>

\*期間中：トークイベント・カフェトーク多数開催！\*

詳しくはコチラ (上映情報ページリンク)

---